

練馬Press

No.008

祝創立40周年～さらなる充実・発展をめざして～

練馬稲門会は今年、創立満40周年を迎えました。会員数は約500名、活動サークルは20を数えます。その規模と活動内容は都内はもちろん全国的にみてもトップクラスにランクされるのではないかと思います。

しかし、ここに至るまでの道のりは決して平坦なものではありませんでした。

今から40年前の昭和53年3月、豊島園の「それいゆ」で開いた設立総会には村井資長総長、田畑健介区長をはじめ多くの来賓を迎え、約200名参加のもと華々しいスタートを切りました。初代荻野優会長以下関係者の並々ならぬご努力で力強い産声を上げたのです。

当初は毎年1回の総会・懇親会を催し、会員相互の親睦を主目的にしていたのですが、第2代会長荻野隆義氏の時代となり、新たにサークル活動の

導入が図られました。ゴルフ、テニス、旅行をはじめ多くのクラブが発足し会員相互の交流が見ちがえるように活発になりました。

また、会の運営についても事務局を中核にして4つの機能別チームが編成され「組織化」が行われて一層の効率化が実現しました。今では会のシンボリックな行事として定着した大学の交響楽団によるニューイヤーコンサートも12回を数えるまでになりました。

この間の経緯については3年前に鈴木奎三郎氏がまとめた「練馬稲門会小史」に簡潔に記述されています。

練馬稲門会は「会員相互の親睦を図る」、「大学の発展に寄与する」、「地域社会に貢献する」という目標の下、さらなる充実と発展をめざして前進していきたいと思えます。

第12回ニューイヤーコンサート 盛大に開催

年頭を飾る行事として定着した早稲田大学交響楽団によるニューイヤーコンサートが1月20日、練馬文化会館で開催されました。



(写真：岡田 吉郎)

会場の1400席はワセオケファンで満席となり、曾我大介さんの指揮による勇壮華麗な演奏と3名のソリストの美声に酔いしれました。締め「早稲田の栄光」と「校歌」で固い絆を再確認して終演、大盛況で閉幕となりました。

来年の第13回は1月19日の予定です。

にぎやかに新春の集い

今年から新年会改め「新春の集い」が2月24日、約100名の参加を得て、ココネリホールで開催されました。



(写真：山下 太郎)

第一部「ハーブ演奏の宵」では華岡さゆりさんのハープと青木寛子さんのソプラノが会場を魅了しました。

第二部の「懇親会とクイズ大会」は小野惣一さん、熊野由紀子さんのペアによる進行で大いに盛り上がりました。

(文：照山 忠利)

「異才群」との出会いに感謝

小井土 有治



力源であり、非常にありがたい。「きょうよう（今日用）」と「きょういく（今日行く）」に大いに役立ち、感謝に堪えないところである。

1961年3月に政経学部を卒業して、翌4月から日本経済新聞社の首相官邸詰めの政治記者となつて文筆業で生きてきた。数年前から筆を絶つてきたので照山デスクの執筆依頼には困惑したが、せつかくの注文なので拙文を書くことにした。

小生にとって大学との最大のパイプは練馬稲門会だが、ほかに二つの会合がある。一つは入学直後の7月から耐乏生活をした東伏見第四寮の四寮会で、全国から高齢の旧寮生が大隈庭園に駆けつけて談笑する。二つ目は語学クラスの旧F組の会合で、四月末に楠亭で再会したが、五人の孫がみな早大合格という自慢話には参りました。

練馬稲門会では塩田、手塚、華岡といった長老方にもお世話になってきた。総会ははじめ多くの多彩な会合や企画は「毎日が休日」の小生にとって有益な活

小生の日課は地域の小学生の安心安全を見守る会の早朝の活動から始まり、児童から元気をもらっているが、稲門会での多くの出会いは素晴らしい刺激になっている。役員は本当にご苦労さんである。部会活動では麻雀部会と囲碁部会に入っているが、酒楽会、元気会などにも参加している。欲を言えば、もっと若い会員の参加が望ましいだろう。

思い出はおいしい料理の会など多々あるが、一番といえば手塚さんが主催した豪州旅行である。これには妻と義姉夫婦も参加したが、「ゴールドコーストへのシルバーの旅」という文章を書いたことがある。妻と現地の人々のしていた未知のゲームに参加できたことは忘れられない思い出である。

稲門会には年代を超えて多くの「異才群」があり、多くの刺激に感謝している。今後も、若手を含む多くの「異才群」の刺激で、認知症の追撃を退けたいと願っている。

(S36政経卒)

稲門を潜って

加藤 順一



一九六八年（昭和四三年）十二月十日雨。京王線特急で居眠りをしていると「毎日新聞社の加藤様、最寄りの駅で下車してください。至急支局へご連絡を」と社内アナウンスでした。何？ 加藤とは俺のこと？ 電車の中で呼び出しとは初めて。車窓は府中駅。八王子へ急行。改札口で顔見知りの私服警官に聞いた。「二億円が盗られた」と訳のわからぬことを言う。

これが私にとって本格的な事件記者のスタートでした。正確に言えば盗られた現金は二億九千四百三十四万円。東芝府中工場へのボートナスを乗せた黒塗りセドリックがまだ府中近辺で逃げ回っていた。

その後警視庁で公安担当。警察に就職したのかとかわれた日々。以後「三億円事件」がついて回った。警視庁とは

ここからの縁。いくら説明しても女房殿は？ 一つだけ秘密の犯人像をそつと教えたのですが、是も？ 多摩地区の交通機動隊警部の息子さんがある日突然青酸カリ自殺で死にました。自殺の理由は不明ですが、自殺の前夜父親と激しい喧嘩をしていたと言うのです。三億円の現金が消え、時効となった今となっては多くは言えません。自殺した少年が忘れられません。論争した父子。思いは複雑。父子二人は一体何を争ったのか謎。

その後私は「公安」担当に。ネクタイ、カフスポタンで警視庁正門から出入りするようになったのです。ところが「公安担当」で、今度は少年達の銃撃戦。学生達の過激派取材です。あの現金は過激派へ行ったのでは？

一転風景が変わり、やがて「稲門会」へ。見るモノ聞くモノ珍しいことばかり。電車の中でのあの「呼び出し」ほどの辺で聞いたのか。つい先日、一人で「京王線」「特急」に乗って見た。自殺した少年のこと。誤認逮捕でやはり自殺したもう一人の少年。しかし、どこも何事も無く静かでした。

(S37法卒)

「ゴルフ・カラオケ部会」に参加して

木村 光宏



動を休止していた様です。したいので手
伝わないかとの打診がありお引き受けし
ました。

当初は隔月開催でスタートしましたが、
出席が4〜5名の時もあり、ちよつと寂
しい状態でした。

その後毎月開催とし、出席者も徐々に
増え常時10名を超える盛況となりました。
約6年間頑張つてまいりましたが、平成
28年2月に現在の若い幹事連にバトン
渡し世話役は退きました。今は20名、或
いはそれ以上の方が出席されている様で
誠に喜ばしい事です。

振り返つて当会の思い出は、平成23
年10月に開催されたゴルフ部会の125
回記念コンペ（大学創立にちなみ）と、
今年2月に開催されたカラオケ部会第
100回記念例会への参加であります。

練馬稲門会在籍15年程になりますが、
たまたまこういつた節目に居合わせる事
が出来たのは幸いであり、又何か因縁を
感じる次第であります。

これからも引き続きお世話になります。
どうか宜しくお願い申し上げます。

(S37法卒)

余生を存分に楽しもう!!

横山 正雄



寡夫として六年目、息子娘は独立して

一人暮らしの年金生活者。来年早くも日
本男子平均寿命年齢に到達。

今年早々インフルエンザに罹り特効薬
で完治したのはよいが、若い頃は市販の
薬も服用せず、汗を出しパジャマを着替
えて終わったものである。今回激しい寒
気がするものの熱が上がらず、待てども
汗が出ない? 熱を出すことは免疫力で
老齢による免疫力の低下であるとの事。

現在まで運よく病氣らしい病氣にもな
らず、悪い頭脳はともかく健康と体力だ
けが取柄であつた自分が、後期高齢を境
に急激な衰えを自覚する今日この頃であ
る。黄泉の国へ行く時はピンピンコロリ
ンが一番であるが、病院で身体を切り刻
まれ痛み苦しむのも嫌である。

一番最悪は認知症で身内に長期間迷惑
をかけること（知人で二三悲惨な場面
を見聞きしている）。延命処置で管だら
けの植物人間にされることは論外である
が、早く日本もスイス、オランダのよう
に安楽死を認めてほしい。

しかし寿命も臨終時（植物人間は除
く）の様も、自分で選択不可能である。

もともと超楽楽家の自分がいつの間にか
マイナス思考というか、うつ状態に落ち
込んでいた。余りうつが進むと呆けの発
生原因になるとの事。桑原桑原!!

昔から病は氣からという言葉があるが、
最近精神医学者が著した本で、感情の
老化↓体力低下↓病氣。前頭葉を大切に
しなさいという難解な部分はさておいて
下記事項に興味を持った。

「女性は男性より長生きする理由」

生物学的な観点は別にして、女性は夫
の死後10年、20年と長生きするが、男性
は意氣消沈して早死にするケースが多い。
寡婦か否かを問わず、男性より感情の老
化を防ぎ気分転換が旨く、また他人への
一寸した優しい配慮等により社交能力に
長け、元気に生き抜く力が有るといふ説
に何となく納得する。これからは女性の
良き面を観察し見習つて長生きしよう
と思う。最近の新聞で、高齢者へのすす
め（認知症防止）、ウイークタイズ（弱
い絆）、地域社会で趣味等につながるこ
とが大切。これを見て意を強くし、今ま
で通り練馬稲門会諸部会で、また個別に
素晴らしい仲間と酒で談笑したり、麻雀
ゴルフで精一杯楽しもう!!

儉しい生活の中でもたまには贅沢な会
食を、周波数の合った友達とするのが何
よりの幸せである。

時と共に体力の低下は避けられないが、
精神（心）だけはいつまでも異性にトキ
メキを感じる男でありたい。最後に練稲
の役員及び各部会の世話役の諸兄に衷心
より感謝申し上げます。

(S38政経卒)

山歩き会を率いた経験から

関口 嗣男



山歩き会員・倉地京平氏(右)と

山歩き会創立者小松大先輩の後任2代目会長を務めた関口です。この間、現幹部の皆様、多くの会員のご支援、ご協力を得て山歩き会本体の組織も拡充、拡大へと確実に歩むことが出来ました。山行回数も107回を超え、会員各自の参加度数、里山から山城も増えるにつれて、安全・安心の山行技術も定着してきました。

会長就任に伴って稲門会役員会、部長会、活性化委員会、練稲本部主催の各行事にも参加させて頂き、他サークルにも多くの友人知己を得ました。また各行事の参加者名簿にほぼ上位に記載され(高齢で)、老兵潔しと決め、今は優秀な後輩にバトンを渡した喜びを味わっています。3代目会長の石村氏は私と同様、背中には山歩き会の会員がいる、愛する稲門会のためにという意識を持つている人です。山歩き会は毎月例会を数時間かけ

て合議、合意を得て山行実施という手順を踏みます。100回記念のブルーレイディスク作成——すばらしい!——この完成も山歩き会に醸成された和と団結の成果と思います。稲門会員に是非見ていただきたい。

さて私見ですが、地域社会は完全な少子高齢化社会となり、様々な分野の福祉新課題が登場しています。この現状の弊害にすぐに対処しなければ、私たちが住んでいる近隣関係の崩壊が必然です。稲門会はサロンのな性格上高齢会員が主体ですが、まだまだ余力・気力のある、豊富な経験と知見を備えた集団です。宿題的な課題の社会貢献についてアクションを起こす可能性の追求があっても良いのではないのでしょうか。既に会員の中には高齢者分野、障害者分野、子育て分野等で福祉支援の活動を行っている人もいます。地域福祉向上の為に協力したい人は会員の中には存在するでしょう。サークル活動の一環として、応援支援に参加する人たちに応えられる新たな稲門会らしい組織作りに着手しましょう。最高の人材資源を抱えている練稲稲門会なのである! 関口自身、地域の方たちとつながりのある地域づくりを目指した福祉活動を実践しています。(S39法卒)

事務局責任者を担当して思ったこと

関 博之



私は、多くの方々の支援を受け前半の四年間は事務総長、後半の四年間は会長代行を務めました。その間、貴重な経験をさせて頂きました。今回、それについて率直な感想を記そうと思います。

(1)稲門会活動はボランティア活動だ

会に参加して楽しんでいる人達を見ると自分も喜びを感じる。余裕のできた時間を大いに楽しんで貰いたい。近くに稲門会が在ることはとても良いと思ってもらえれば幸いだ。その機会を多く提供するのが我々事務局だ。

(2)素晴らしい人達との出会い

会員の方々は、業界で活躍した方、又はしている方達。その方々と新しい出会いを持つるのは会の大きな魅力の一つだ。杉並・世田谷等大きな稲門会は7プロックに分かれている。練稲は、単独でニューイヤークンサートを開催している。又、出合いの機会は会が一つの方が多くと考え、私は会の組織化を進めてきた。

(3)会は永続して発展してこそ価値が増す
私は、商社でいろいろな仕事を手掛けてきた。そこで学んだことは組織の

持つ力、永続して前進することの大切さだ。それには会の為に働き汗をかいている人を大事にすること。日々の活動の中で後継者に自分の思いを伝えてゆくことだ。そして適切な時にその人を信頼してバトンを託すことだ。私は、会社で学んだことを稲門会で実践できただろうか。

(4)多様性の尊重

会に対する批判・異なる意見を尊重しよう。私の経験では、意見を言ってくれる人は会に関心の有る人。無い人は静かに辞めていく。だから異なる意見が出た時は、根気よくその背景を理解すべく話し合う。多様性は早稲田が昔より持っていた良き伝統の一つだ。

(5)失敗を恐れず積極果敢にトライしよう

広い視野と深い考えを持ち、正しいと思ったら実行に移す。自ら引受けたら責任を取る。現状に満足していたら何も生まれず、会は衰退してゆく。周りの人の意見に素直に耳を傾けることは大切だ。但し最後の決断は自分でしてきた。私は、喫茶店で稲門会について一人で考えるのが好きだった。

(結び) 早大の前身である東京専門学校を出た父は、生涯早稲田をこよなく愛した。私は最近、「早稲田スピリット」という言葉がよく思い浮かぶ。今や大学も国際競争の時代に突入し、日本も超高齢化社会になりつつある。このような時期を迎え、稲門会の存在は益々重要になるであろう。これをチャンスととらえ、会のさらなる発展と充実を目指そう。

(S41理工卒)

囲碁部と私の関わり合いについて

築山 哲



そもそも私が練馬稲門会に入ったのは、囲碁部に入りたいとの思いからでした。

囲碁部の部長を仰せつかったのは、平成23年の1月より、前任者の横井邦夫氏からです。碁の腕前は3段を称していますが、例会では会長の松村秀一さん(通称7段クラス)には6子も置いて負けることもあり。苦労話と言えば、当囲碁部には、女性の会員がここ数年不在のままであることです。よく対抗戦でやる豊島稲門会には数名いらつしやるのでうらやましい限りです。

対抗戦は春、秋に幹事持ち回りでそれぞれの地区で行っています。練馬でやるときは向山庭園を借りたり公共の場所を借りたりしています。成績は練馬のほうが勝ち越しています。対抗戦の後は反省会を兼ね懇親会を恒例で行っていて、豊

島の方と懇意になり人の輪を広げるのに役立っています。大学の囲碁との関わりは、年に3回ほどあります。その1回目は6月のオール早稲田囲碁祭(日本棋院にて開催。参加人員約150名。2チーム各5人がチームを組み、奮戦しています)。次が9月の稲穂囲碁大会。これは学生との対局です(開催は大学で行われ、参加人員は約60名)。12月には早慶囲碁大会(日本棋院にて開催され総員260名の参加)があります。

あと年中行事としては、1月に新春合宿を1泊2日で行っています。湯河原の杉の宿や、熱海のホテル、今年は伊香保のホテルを利用しました。毎月の行事は例会を行っています。これには会員の半数近くの10名がいつも参加しています。会場は練馬駅近くの「囲碁倶楽部」を使っています。練馬稲門会に入りかつ囲碁部に入ったことは、人とのつながりができ本当に良かったと思っています。

最後になりましたが、級位者もいらつしやるので、囲碁に興味をお持ちの方は、積極的に囲碁部にお入りいただきたくお願い申し上げます。
(S41理工卒)

賛助会員として恩返しを

石崎 淳朗



練馬稲門会40周年おめでとうございませう。はじめまして、石神井庁舎の南側で内科クリニックを開業しております石崎淳朗と申します。

実は早稲田大学を卒業した訳ではないのですが、高校の同級生が商学部出身で世田谷稲門会に誘われ、ウォーキング部でビジターとして参加を許されて以来長くお世話になって来ました。

ウォーキング部では毎月日曜日に世田谷だけでなく、都内各地および関東近郊を散策して周りました。同窓生でないにもかかわらず、分け隔てなく扱っていただき大変感謝しております。

このたび練馬区でクリニックを開業するにあたり、稲門会の方々に、これまでの恩返しをしたいという希望を世田谷区の評議員にお伝えしたところ、練馬区の評議員であられました故・石川正利氏に御推薦をいただき、練馬区稲門会の賛助

会員として参加させていただいております。

診療の関係で平日や泊まりがけの参加は難しいので現在は酒楽会のみ参加なのですが、今後はいろいろなサークルに参加させていただければと思っております。

開業して直ぐに気がついたことがたくさんあるのですが、その中から、まずお話ししておきたいことを、ひとつだけお話ししておきます。

ある程度の年齢になって心配になるのは、やはりがんです。早期診断・早期治療が望ましいのですが、発見しにくいがんの代表が、甲状腺がん、膵がんです。また症状がない場合に見逃されやすいのが胃がん・食道がんです。

当院は胃カメラ検査と超音波検査を得意としておりますので、これらを比較的早期に発見することが可能です。自覚症状は特にはつきりしないが、何かおかしいという訴えで当院に来院されて早期診断に至った例はいくつもあります。

心配な時は、いつでも御相談にいらしてください。稲門会の方は、会員である旨を問診票に記載するなどして受付時にお申し出ください。どうぞ今後とも宜しくお願い致します。
(賛助会員)

サークル活動でより楽しい練稲ライフを!!

2018年5月現在、20のサークルがそれぞれ活発な活動を行っています。お好きなサークルを探して、交友の輪をさらに広げてください。

●各サークル連絡表

2018年5月10日現在 (事務局：作成)

	サークル	部長	卒年	連絡先(Tel)	開催予定日
1	ゴルフ部会	栗原 英明	S40	3924-1119	毎月(日は未定、7、8、12、1、2月休会)、早慶戦(年1回)5月
2	歴史ウォーキング部会	八巻 孝夫	S45	3997-5703	七福神巡り他、年6回程度(3月～5月、9月～11月)、夏冬休み
3	旅行部会	藤沢 礎	S49	3867-2210	年間3回程度
4	麻雀部会	喜々津和夫	S43	3991-7085	奇数月の最終土曜日、年2回早慶戦、年2回近隣会、年1回熱海泊
5	囲碁部会	築山 哲	S41	6760-9579	毎月第3土曜日、年1回湯ヶ原泊、春・秋豊島対抗戦
6	グルメ会	持ち回り		事務局 3994-8212	年2回程度
7	テニス部会(硬式)	菊田 勉	S44	3310-3900	毎月1回(日は未定)、夏合宿(軽井沢泊)
8	エッセイ同好会	照山 忠利	S45	5387-5176	偶数月(第3土曜日)
9	ワセダスポーツを楽しむ会	小島 忠夫	S41	090-4606-4552	箱根駅伝、野球早慶戦、早明ラグビー、早慶レガッタ
10	カラオケ部会	土屋 正孝	S45	3929-9227	毎月(第3月曜日)PM4:00～7:00、ジュニア部会年2,3回(土日)
11	山歩き会	石村 毅	S43	5241-1866	毎月1回・第1木曜日定例会
12	写真クラブ	岡田 吉郎	S35	0424-52-9381	毎月第3水曜日
13	パソコン教室	築山 哲	S41	6760-9579	毎週木曜日(PM1:00～3:00)
14	ティータイムコンサート	土田 寿久	S42	3995-1227	3ヵ月に1回程度(歌・落語・等)
15	酒楽会	森 正治	S46	090-4361-6656	月末の最後の木曜日(年5回)PM5:00～7:00
16	釣り愛好会	松浦 康夫	S48	3904-2455	例会年4回(4, 6, 10, 11月頃)、オフ会=随時
17	青年部会	小野 惣一	S60	080-5385-5114	主要行事のない月の第3水曜日(年6回程度)
18	料理を楽しむ会	仲山 典美	S40	3994-8665	2ヵ月に1回
19	陶芸を楽しむ会	田原 亜彦	S38	3929-7063	毎月第1月曜日
20	フォークソング愛好会	河野 省三	S41	6914-5016	毎月第1火曜日(PM1:00～3:00)

注) イベント募集案内、活動状況報告はHP (<http://nerima.waseda-info.com/>)、メルマガ、サークル通信をご覧ください。

お悔やみ申し上げます
塩出 重弘さん 1970年理工卒 2017.11.22ご逝去
石川 正利さん 1973年理工卒 2018.3.21ご逝去

ぜひご覧ください!! ホームページ

開設14年になるHP。ここには当会の最新の活動がすべて集約されています。
「練稲 PRESS」と併せてご覧ください。

<http://nerima.waseda-info.com/>

編集・発行: 広報チーム

照山 忠利 鈴木 奎三郎 岡田 吉郎

発行所: 〒176-0014 練馬区豊玉南3-6-2 第2春日ビル2F 練馬稲門会事務局 TEL.03(3994)8212 FAX.03(3994)8219